

【学内/学生向け】

NO	活動名	担当教員	実施日
1	「 おのみち文化スタディ 」 日本文学科の新入生歓迎行事の一つ。上級学生スタッフと教員が新入生と一緒に尾道を散策する。	日本文学科	毎年5月中の1日で開催
2	「 科目『フィールドワーク』 」 日本文学科3年生以上を対象とする授業。フィールドワークの基礎知識を実習とともに学ぶ。	日本文学科	通年（前期～後期授業期間）
3	「 地域プレゼンテーション課題 」 美術学科デザインコース3年生の課題。尾道や出身地をテーマに企画・制作を行う。	美術学科	展示：2023年2月18日～22日 発表会：2月20日
4	「 尾道学入門 」 教養教育科目の講義。尾道の歴史・文化・経済等に関する知識を修得する。	地域総合センター	2022年度前期
5	「 フィールドワーク：広島県尾道市（向島、因島、生口島）における地域振興、商店街等の視察 」 学生とともに地域振興策について考察するためのフィールドワーク実施。	岡本 隼輔 (経済情報学科)	2021年度 2022年度
6	「 フィールドワーク：高知県室戸市および馬路村における地域振興、ダム施設の視察 」 学生とともに地域経済、環境経済学について考察するためのフィールドワーク実施。	岡本 隼輔 (経済情報学科)	2022年度
7	「 出前授業『尾道空き家再生』 」 尾道商業高校での出前授業	小野 環 (美術学科)	2021年
8	「 出前授業『尾道空き家再生』フィールドワーク編 」 尾道商業高校での出前授業	小野 環 (美術学科)	2021年
9	「 出前授業『吉和の歴史と現在』フィールドワーク編 」 尾道商業高校での出前授業	小野 環 (美術学科)	2022年3月3日
10	「 愛媛県立弓削高校での学生向け講演 」 ゼミの3回生1名を講師として派遣「大学で情報学をなぜ学ぶことにしたのか」について講演（後半は、プログラミングの体験会: これも学生が全て学生が企画・実施）	木村 文則 (経済情報学科)	その他

11	<p>「尾道商業高校の『探求的学習』授業の計画の助言および発表会の参加」</p> <p>今年度から開始された「探求的学習」授業の案の提示（そのうち、「尾道の魅力的な写真を撮影し、それを活用した観光プランの提示」が今年度は実施されている。</p>	<p>木村 文則 (経済情報学科)</p>	<p>2023年2月7日</p>
12	<p>「コロナ禍の『尾道方式』」</p>	<p>佐藤 沙織 (経済情報学科)</p>	<p>2022年7月27日</p>
13	<p>「コロナ禍の『尾道方式』」</p>	<p>佐藤 沙織 (経済情報学科)</p>	<p>2022年10月19日</p>
14	<p>「コロナ禍の『尾道方式』」</p>	<p>佐藤 沙織 (経済情報学科)</p>	<p>2022年11月16日</p>
15	<p>「コロナ禍の『尾道方式』」</p>	<p>佐藤 沙織 (経済情報学科)</p>	<p>2022年12月14日</p>
16	<p>「コロナ禍の『尾道方式』」</p> <p>尾道市には「尾道方式」と呼ばれる独自の地域包括ケアシステムが構築されています。コロナウイルス感染症によって既存のシステムがどのような影響を受けたのか、ゼミナール生が調査しました。</p>	<p>佐藤 沙織 (経済情報学科)</p>	<p>2023年1月13日</p>
17	<p>「尾道市『第三の居場所』事業の意義と課題」</p> <p>子どもの貧困問題に対峙するために尾道市が設置する「第三の居場所」を対象に、実施状況と課題を調査しました。</p>	<p>佐藤 沙織 (経済情報学科)</p>	<p>2022年度 (卒業研究)</p>
18	<p>「『地域における子どもの教育～社会問題解決の一事例を通じて～』」</p> <p>中学校や福祉施設での教育実践活動について場や時間の調整・参加学生への事前指導を行っています。</p>	<p>塚本 真紀 (日本文学科)</p>	
19	<p>「教職課程で学ぶ学生の教育実践活動」</p> <p>『教職実践演習』（4年後期・教職）の授業内で尾道市社会福祉協議会の社会福祉士の方を招いて、尾道の地域福祉について学ぶ機会を設けました。</p>	<p>塚本 真紀 (日本文学科)</p>	<p>2022年7月7日</p>
20	<p>「芸術的視点を取り入れた幼児教育事業」</p> <p>幼稚園児に、日本画の技法（砂子）や絵画における様々な技法を体験してもらう。</p>	<p>中村 譲 (美術学科)</p>	<p>2022年5月30日 2022年10月25日</p>
21	<p>「赤神諒『空貝 村上水軍の神姫』を読む」</p> <p>日本文学講読5の授業で、当該作品を取り上げました。主だった舞台は大三島になりますが、因島村上のことに触れる機会がありました。</p>	<p>原 卓史 (日本文学科)</p>	<p>2022年9月～ 2023年1月</p>

22	<p>「東京物語のなかの尾道方言」</p> <p>小津安二郎の東京物語のなかにあらわれる尾道方言がどのように準備され、どんなかたちで実現しているかを紹介します。</p>	灰谷 謙二 (日本文学科)	日本語学講義Ⅳ 8回目授業内
23	<p>「科目『日本語学講義4』のうち瀬戸内の環境とことば(第6回)」</p> <p>漁業語彙、瀬戸内の潮の干満とことば、漁場確定のための「やまあて」の知識と方法を通して、語彙と生活の関係を理解します。</p>	灰谷 謙二 (日本文学科)	日本語学講義4 6回目
24	<p>「科目『民話研究』(日本文学科2年生以上) 尾道民話の解説」</p> <p>毎回の授業で、尾道に伝承されてきた民間説話2話ずつを解説する。</p>	藤井 佐美 (日本文学科)	後期授業期間
25	<p>「科目『瀬戸内文化論』」</p> <p>毎回の授業で、しまなみ海道をめぐる伝承文化の事例紹介と解説をおこなう。</p>	藤井 佐美 (日本文学科)	前期授業期間
26	<p>「科目『民俗学Ⅱ』」</p> <p>身近な地域をめぐるフィールドワーク企画書提出を課題とし、フィードバックを通して地域学習の意義と可能性について解説する。</p>	藤井 佐美 (日本文学科)	後期授業期間
27	<p>「科目『伝承文学専門演習b』 昔話資料の研究」</p> <p>広島県の民話資料を輪読し、履修者自身の研究成果を授業で共有し討議をおこなう。</p>	藤井 佐美 (日本文学科)	後期授業期間
28	<p>「尾道の寺院と集客に関するフィールドワーク実施」</p> <p>尾道の寺院の歴史と、新たな取り組みによる集客方法を体験しました。時光寺ご住職から尾道と寺の歴史の関係についてのレクチャーをしていただきました。</p>	森本 幾子 (経済情報学科)	2021年度 2022年度
29	<p>「科目『地域経済史』」</p> <p>仕切状を読む(尾道と北前船商人の商取引)、尾道来訪者の歴史、尾道の造船業の歴史</p>	森本 幾子 (経済情報学科)	2021年度前期 2022年度前期
30	<p>「小倉幹正『ローカル線の廃止問題と今後の向き合い方ー尾道鉄道の事例とフィールドワークを踏まえてー』」</p> <p>2022年度卒業論文</p>	森本 幾子 (経済情報学科)	2022年度
31	<p>「越智亜未『村上海賊の活躍について』」</p> <p>2022年度卒業論文</p>	森本 幾子 (経済情報学科)	2021年度

32	「園山朱理『尾道の造船業における課題と今後の展望』」 2021年度卒業論文	森本 幾子 (経済情報学科)	2021年度
33	「村上歩美「カフェの歴史と地域との繋がり」」 2021年度卒業論文	森本 幾子 (経済情報学科)	2021年度
34	「村田拓郎『名誉市民から見る尾道市の発展と今後の課題』」 2021年度卒業論文	森本 幾子 (経済情報学科)	2021年度
35	「科目『地域の伝統文化（囲碁）』」 尾道市の市技である囲碁を身につけ、尾道のより一層の理解に役立てる。	山本 賢太郎 (非常勤講師)	後期授業期間
36	「地域ポスター展／『ライフ』木工デザイン展」 尾道や自分の出身地をテーマに制作。アルファベット26文字を独自にデザイン。	世永 逸彦・林 宏 (美術学科)	2022年11月11日 ～17日